

「地域協働EBPM事業」で地域の交通課題を解決！

◆あいおいニッセイ同和損害保険株式会社◆

弊社はテレマティクスデータを活用し、宇都宮市とともに地域の交通課題解決に向け取り組んでいます。地域別に自動車の走行データを収集するイベントを開催し、集積されたデータを活用することで、「地域・暮らしの安全・安心」に向けた取り組みを実施しております。

※テレマティクス： 「テレコミュニケーション（通信）」と「インフォマティクス（情報工学）」を組み合わせた造語



自動車の走行データ等と組み合わせ、作成された「ヒヤリハットマップ」

主な連携内容

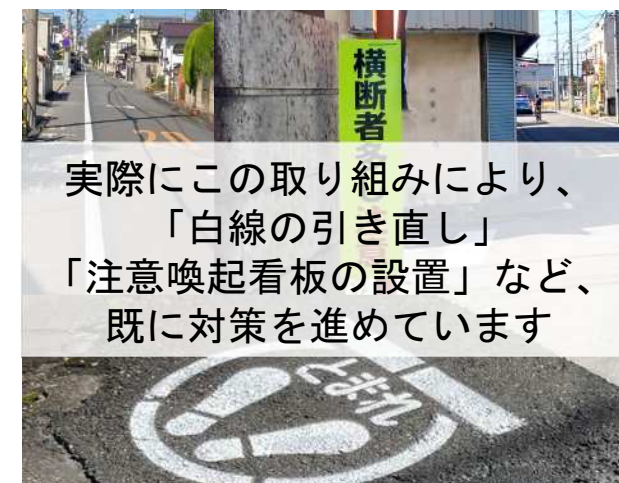
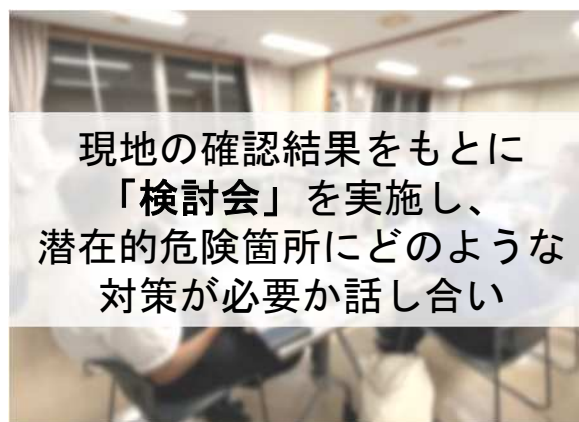
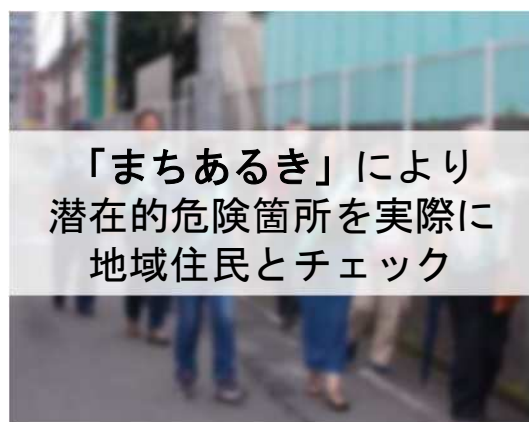
- ➡ 地域・暮らしの安全・安心に関すること・・・「地域協働EBPM事業」で交通課題解決
- ➡ 防災・災害対策に関すること・・・「cmap」を活用した防災・減災
- ➡ 地方創生に資する取組に関すること・・・市内中高生向け「自動車安全運転講習会」

など

弊社の「地域協働EBPM事業」

弊社提供の、自動車の走行データを収集できる車載器（右図）を、地域の皆さまの自動車に設置。これにより自動車が「どこで急減速をしているか」などといったデータを収集することができる。

宇都宮市では、この車載器により得られた自動車の走行データ、県警の所有する事故頻度の発生頻度のデータなどを分析し、市政研究センターがオリジナルの「ヒヤリハットマップ」を作成。今後、事故が発生するかもしれない「潜在的危険箇所」を明確にした。



「防災・災害対策」&「地方創生に資する取組」

リアルタイム被害予測アプリ 「cmap（シーマップ）」

台風・豪雨・地震の建物被害をリアルタイムで予測。マップ上にSNS解析情報の表示。降雹アラートなど、多くの機能があるリアルタイム被害予測アプリ「cmap」により、地域の「防災・災害対策」に取り組んでいます。

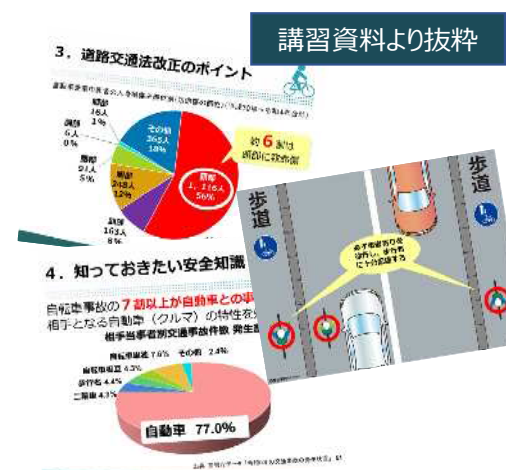


cmapの詳細・
アプリのダウンロードは
こちら



市内中高生向け 「自転車安全運転講習会」

弊社代理店・社員が講師を担い、市内の中学校・高校に出向いてスライドを用いた講習会を開催（法改正や自転車安全運転利用五則など）。好評により本講習会は8年目を迎え、今年度は過去最高の17校で開催いただきました。



講習会の様子